

社会福祉法人むそう
こどもケアセンターほっと大田



2021. 7. 27(火)13:30~
社会福祉法人むそう 瀬 佳奈子

社会福祉法人むそう

■法人本部:愛知県半田市

■理事長:戸枝陽基

■事業内容

障がい者地域生活支援

■1999年(平成11年)活動開始

平成11年3月

任意団体

生活支援サービスふわり設立

平成12年3月

NPO法人ふわり設立

平成15年8月

社会福祉法人むそう設立



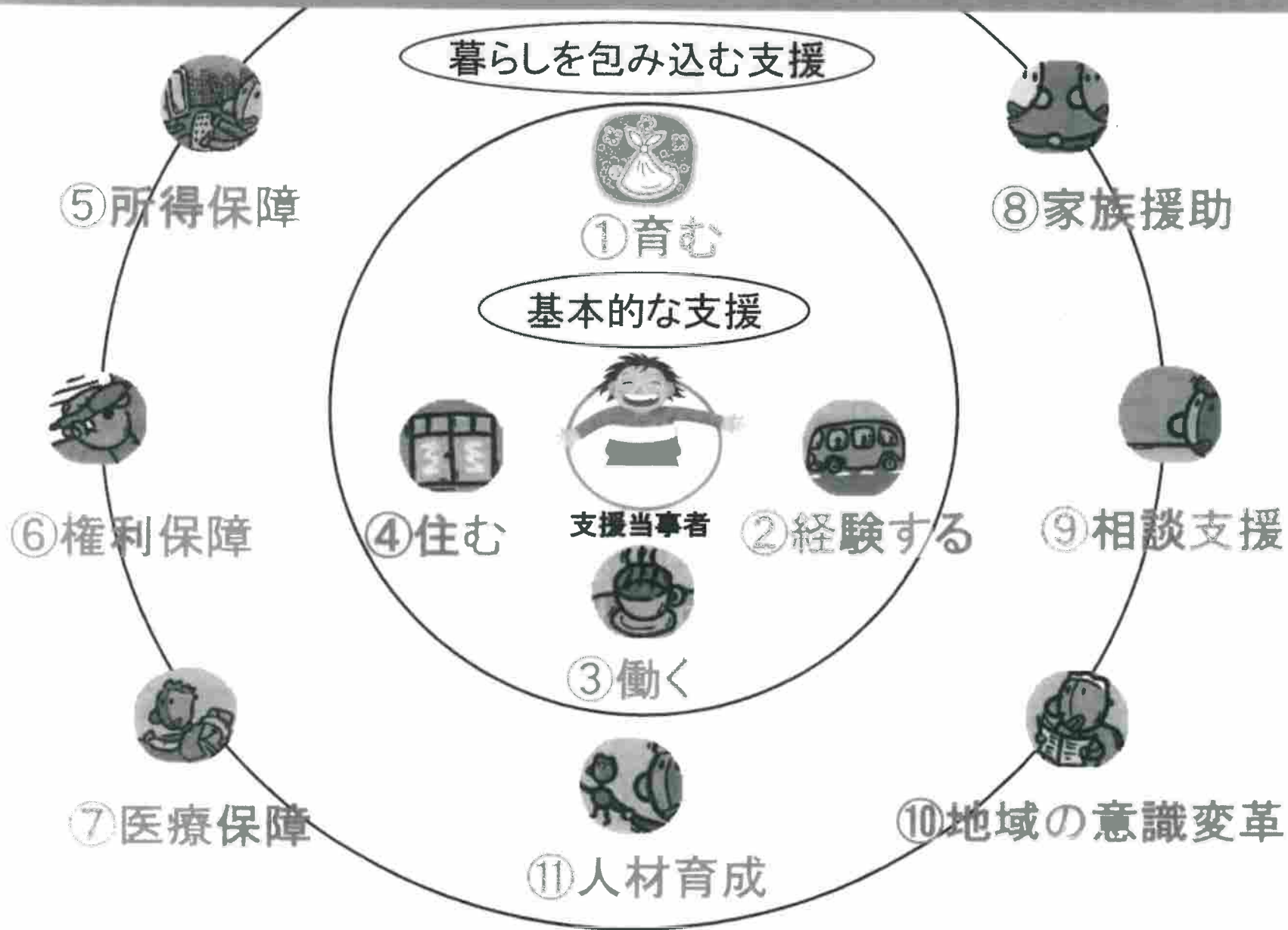
ふわり・むそうの理念

- どのような援助があれば、ハンディのある方が、一人の市民として社会参加し、生きがいを持って、自己実現に向けた生活を続けることができるのでしょうか。
- どのような援助があれば、ハンディのある方の家族が、ゆとりを感じ自分の人生を楽しみ、互いに愛し合うことができるのでしょうか。
- どのような援助があれば、この街が、ハンディのある方もかけがえのない存在であることを受け止め、共に生きる街になるのでしょうか。

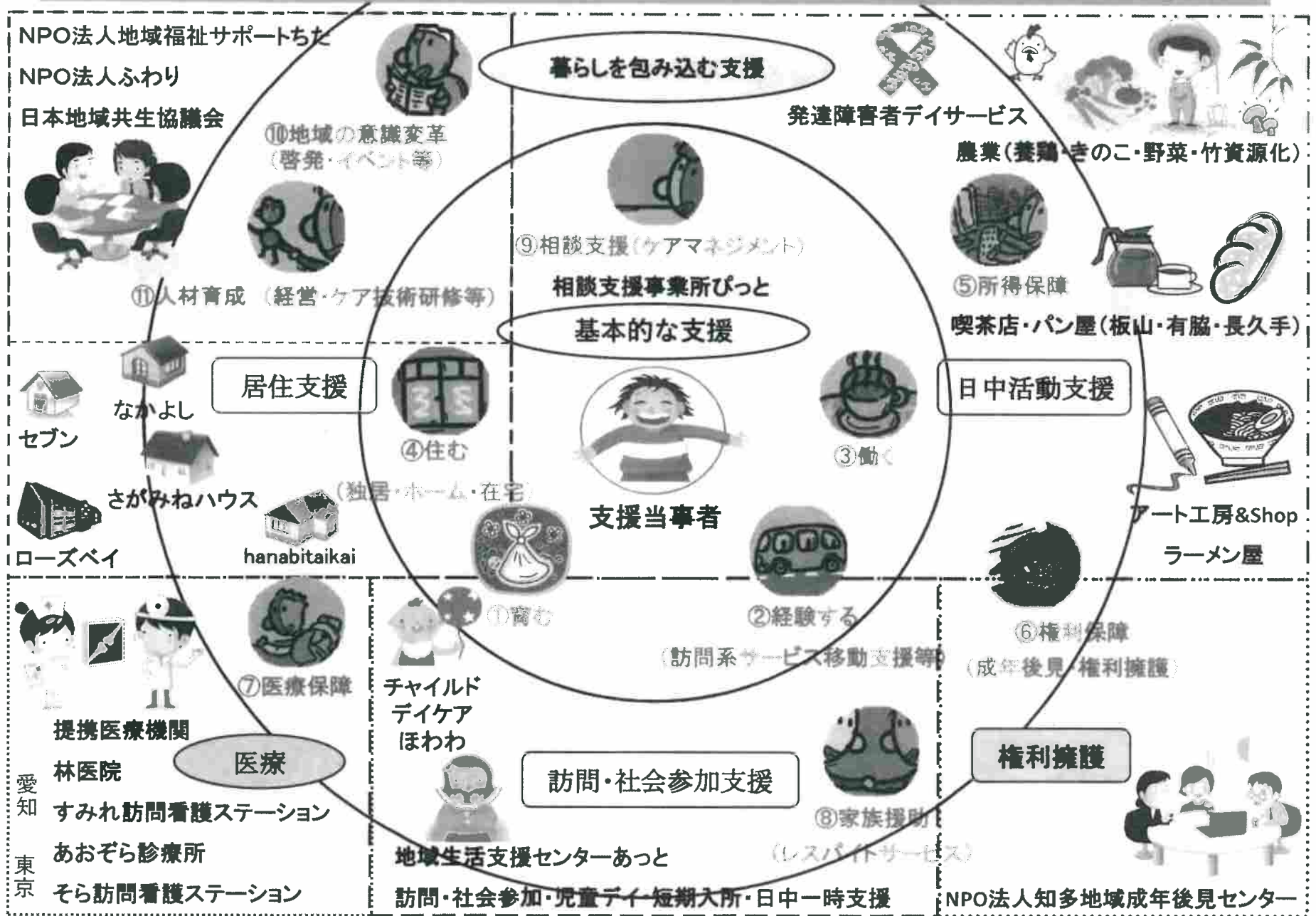
24時間365日、

**必要な時に、必要な人に、必要なサービスを！
ずっと住み慣れたまちで暮らしていくために。**

地域生活支援：11個のパーツ



社会福祉法人むそう：地域生活支援11個のパーツ



育む、体験から 住む、働く、社会参加

育む



児童発達支援事業:ほわわ



生活介護でも働く:ラーメン屋

住む



共同生活介護:ケアホームの夕食

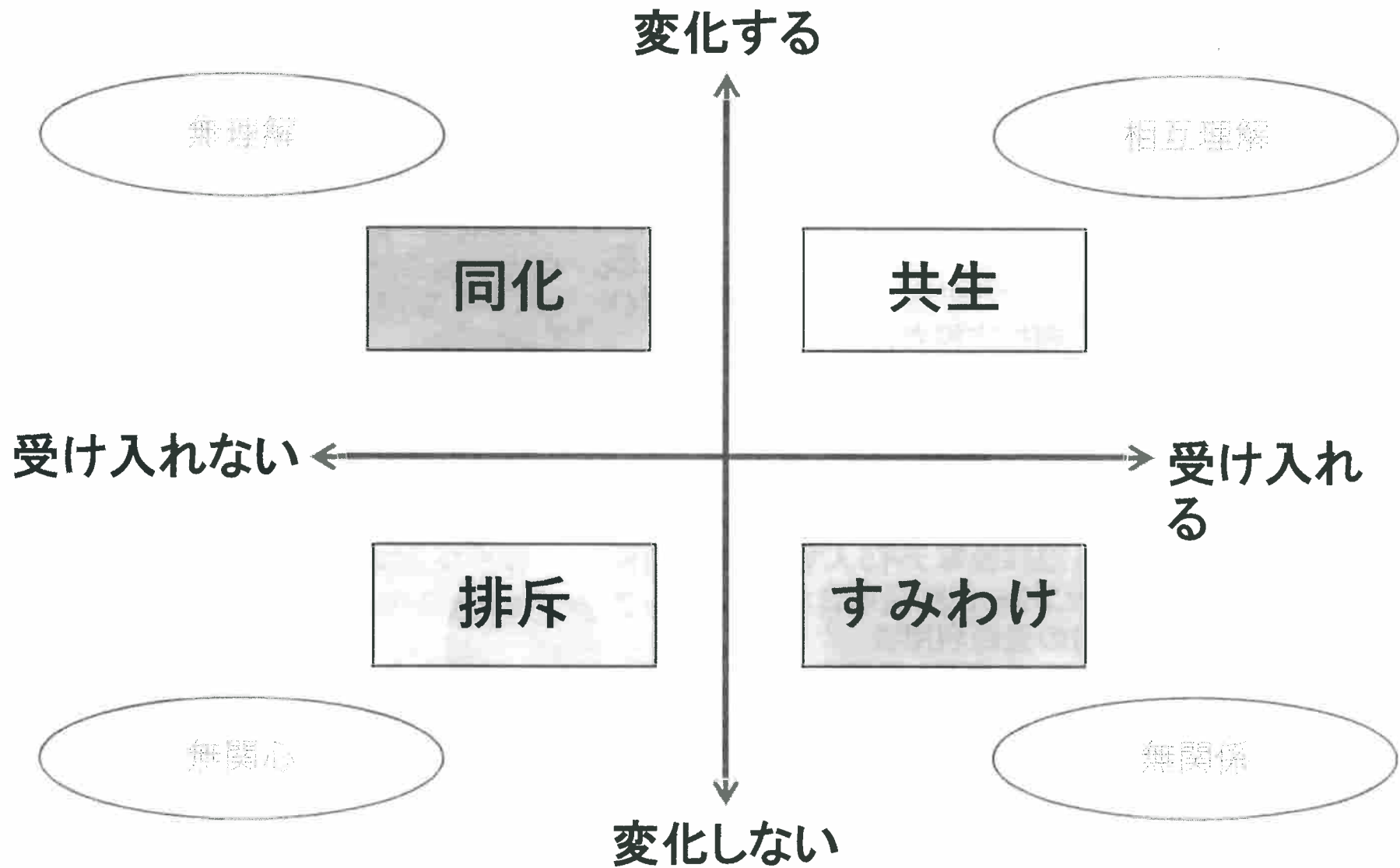


行動援護で外出:社会参加

働く

体験・社会参加

多様性に対する社会の対応



(2007 田村太郎:ダイバーシティ研究所)

こどもケアセンターほっと大田概要

- 1 名称 こどもケアセンターほっと大田
- 2 事業内容 児童発達支援事業（ほわわ大田） 定員5名
放課後等デイサービス(ぴゅん大田) 定員5名
指定特定相談支援及び指定障害児相談支援
(相談支援ぴっと東京)
- 3 主たる対象者 医療的ケアを要する障害児を含めた重度の心身障害児
- 4 住所 東京都大田区田園調布5-45-10
Tel : 03 - 6715 - 6240
Fax : 03 - 6715 - 6249
- 5 敷地面積 972.83㎡ (実測)
- 6 延床面積 957.98㎡
- 7 規模・構造 鉄筋コンクリート構造
地上3階建て
1階：事務室・地域交流室等
2階：児童発達支援事業
放課後等デイサービス
3階：相談室・休憩室等
- 8 利用定員 児童発達支援事業：定員5名
放課後等デイサービス：定員5名



こどもケアセンターほっと大田 ほわわ事業所概要

児童発達支援：定員5名

ある日の・・・ ほわわの1日

- 08:45 スタッフ朝会・送迎開始
- 10:00 お送り受け入れ、送迎戻る
順次バイタルチェック等
- 11:00 朝の会、ラジオ体操
オイルマッサージ
- 11:30 公園で体を動かしてあそぶ
- 12:00 食事（注入・経管栄養対応等）
- 13:00 お昼寝
- 14:00 工作
- 15:00 帰りの会、おやつ
- 15:30 お迎え、送迎
- 17:00 送迎戻る・スタッフ会議

●母子分離

お母さんやお父さんと離れる事で、初めて感じる不安感や達成感。改めてお母さんやお父さんのあたたかさや大好きな気持ちに気がつきます。両親と離れて自分だけの時間を過ごす事はお子さんの発達にとっても必要な時間です。(慣れるまでは親子で通う事も可能です)

●対象児童

0歳～6歳の医療的ケアが必要なお子さん、発達の配慮を必要とするお子さん(※重症心身障害児に限らず歩行可能なお子さんも対象です。医療的ケアや障害、病気等についての受け入れの制限はありません)

また日常的に必要な吸引や注入は看護師の指導の下で資格のあるヘルパーも行います。



こどもケアセンターほっと大田 ぴゅん事業所概要

放課後等デイサービス：定員5名

ある日の・・・ ぴゅんの1日

- 14:00 ○送迎
・学校までぴゅんの送迎車がお迎え
- 15:00 ○ぴゅん大田到着
○トイレ・身支度など
○水分補給・おやつ
- 15:30 ○個別あそび
外あそび・室内あそび
季節のあそび・料理・社会見学・
社会体験など
- 17:00 ○帰りの準備
- 17:30 ○お帰り
・ぴゅんの送迎車で帰る
・ご家族のお迎えで帰る



ぴゅんは学校や家庭とは異なる時間、空間、人、体験等を通じて、個々の子どもの状況に応じた発達支援を行い、楽しく成長発達していくことを目指します。ひとりひとりの理解力や認知の仕方、身体の機能や医療的な配慮などを多職種のスタッフが意見を出し合い、年齢や発達に合わせたオーダーメイドの支援プログラムを考えます。

将来を見据えた上で今この時に必要な感覚の統合・あそび・社会体験・ケアを行います。地域社会への参加・包容（インクルージョン）を進めるためにひとりひとりが社会に出て活動できるようにします。

また、日常的に必要な吸引や注入は看護師の指導の下で資格のあるヘルパーが行います。むそうにある「相談支援ぴっと」、「生活支援センターあっと」を併用して暮らしの一体的なサポートを行っています。



高齢者が多い地域のため週2回移動スーパーがきます！ほっと大田のスペースを活用いただいています。地域の方が買い物に。ほわわの子たちも！
*残念ながら今月いっぱい終了

歩いてすぐそばに田園調布特別支援学校(知的高等部)があります。園芸活動班がつくっている野菜の収穫をいっしょにさせてもらえることになりました！
また、清掃班がほっと大田のお掃除にきてくれました！

